

米倉みな子

ごあいさつ

市議会レポート

能登半島地震でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

皆様のご意見を以下のGoogle フォームからお寄せ下さい。
(ページ 2024.5.31)

私は、たくさんの方々のご支援をいただき、札幌市議1期目として議会活動を全力ですすめています。市民の声に寄り添い大切にする市政の実現をめざします。

米倉 みな子



一人ひとりが大切にされる札幌・北区をつくります



米倉みな子 プロフィール

- 1972年 札幌市生まれ
- 91年 北海道札幌藻岩高等学校卒業
- 93年 光塩学園女子短期大学 食物栄養科卒業
- 93～2013年 民間会社や、栄養士として医療機関に勤務
- 21～22年 生活クラブ生活協同組合 北支部運営委員長
- 23年 札幌市議会議員に初当選



[現在]

1期目、札幌市議会財政市民委員、冬季オリンピック・パラリンピック調査特別委員、北区福祉を考える会代表、人権を考える北区市民の会代表、子どもの未来を考える札幌市民の会代表

2023年 第3回・第4回 定例市議会 報告 (抜粋)

第3回定例市議会 (9/20～10/31)

2022年度札幌市各会計歳入歳出決算の認定の件や2023年度札幌市一般会計補正予算など議案31件が可決されました。市民一人当たりの市債残高は、54万9,479円と依然として高く、さらに減少させていくべきです。



▲本会議場で討論を行う
米倉みな子
(2023年12月12日)

第4回定例市議会 (11/29～12/12)

札幌市一般会計補正予算など議案51件が可決されました。米倉みな子は札幌市特別職(市長・副市長・市議)のボーナス引き上げのための条例案の改正等の議案に反対しました。

「常設の住民投票条例」の制定を!

冬季オリンピック・パラリンピック調査特別委員会(10/30)

質問 オリ・パラ招致ありきですすめる札幌市の姿勢は「大事なことはみんなで決めよう」という市民の意見に寄り添っていない。自治基本条例のある札幌の市政運営にそぐわないと考えるのがいがか。

答弁 札幌市自治基本条例では、情報共有と市民参加をまちづくりの基本原則として掲げており、様々な市民対話事業を行ってきた。しかし、東京大会を契機としたオリ・パラへの不信感や招致に対する経費などの不安の声が大きく、市民の理解が充分広まらなかった。

要望 厳しい財政状況の中、オリ・パラ招致より福祉や教育を優先すべき等の市民の意見について札幌市は真摯に耳を傾けていたとは言えません。市民の生活に大きな影響を与える事業等について、市民の意見を反映するための「常設の住民投票条例」の制定を求めています。

マイナンバーカードと保険証の一体化に異議あり!

第4回定例市議会 最終討論(12/12)

■2023年一般会計補正予算には、24年秋のマイナンバーカードと健康保険証の一体化に向け、国民健康保険システム改修費が含まれており反対しました。

■マイナ保険証を持たない人に5年間有効の「資格確認証」が発行されますが、その後、保険証を持つためにはマイナンバーカードの申請の必要があります。これは、そもそも任意であるはずのマイナンバーカードの取得の強制に他なりません。

■マイナ保険証をめぐっては、別人の情報を誤って本人の資格情報に紐づける「誤登録」が全国で多数報告されており、個人のプライバシーや命に関わる重要な情報の漏洩、また適切な医療が受けられなくなる危険性があります。病院へのサイバー攻撃や大規模災害によるシステム障害等によるトラブルも予想されます。

■現行の健康保険証を残すことを国に求めるよう強く訴えました。

